

山形県中小企業団体事務局協議会視察研修会を開催



シェルターなんようホール

山形県中小企業団体事務局協議会(会長南伸一氏)は、平成30年10月25日(木)、南陽市のシェルターなんようホールと米沢市の協同組合米沢総合卸売センター、道の駅米沢を視察し、16名が参加しました。

午前中は、シェルターなんようホールの視察を行いました。当ホールは、地元南陽の山から切り出したスギ材を活用しており、日本初の大型木造耐火の施設「最大の木造コンサートホール」として平成27年12月にギネス



協同組合米沢総合卸売センター

記録に認定されています。

午後からは、協同組合米沢総合卸売センターの視察を行いました。当組合は、共同施設管理事業、受託施設管理事業、カーリース事業、共同駐車場事業、外国人技能実習生受入事業等を行っています。保育所事業では、企業主導型保育園として運営しており、園内調理の給食では非常に良い食材を使用しているなど組合員企業の従業員から大変好評とのことでした。最後に、今年4月20日に東北中央自動車道米沢中央IC付近にオープンした道の駅米沢の自由見学をしました。

名取市管工事業協同組合と上山管工事協同組合との意見交換会を開催



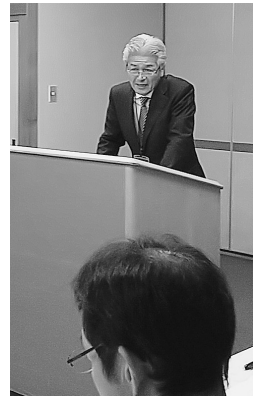
平成30年10月19日(木)、上市市「仙溪園月岡ホテル」において、名取市管工事業協同組合と上山管工事協同組合との意見交換会が開催されました。

宮城県名取市と本県上市市は同じ緯度(北緯38度)にあり、海に面した名取市と山に囲まれた上市市の「海の子山の子交歓会」をきっかけに昭和53年姉妹都市を盟約締結しています。東日本大震災後、上山管工事協同組合は多くの人員を名取市に派遣し、災害復興復旧に尽力しました。

2年前に秋保町で両組合の第1回交流会を開催し、今回が2回目の交流会となりました。

講話では本会が中小企業組合における官公需適格組合制度を説明しました。意見交換会では上山管工事協同組合組合副理事長が座長となり両組合の現状と課題を報告し、活発な意見交換をし、今後も両組合が一層強い友好関係を結ぶことを約束しました。

懇親会は、両市長も参加し、交流を深めました。



宮城県中央会との指導員研修会を開催

本会では平成28年度より、隣県の宮城県中央会と相互交流し、指導員間のより良い連携構築を図るため、指導員研修会を開催しております。



置賜国際業務開発協同組合

【山形開催】

平成30年11月1日(木)、2日(金)、米沢市の置賜国際業務開発協同組合と株式会社バルコム、南陽市の赤湯温泉旅館協同組合の視察を行いました。

置賜国際業務開発協同組合では、外国人技能実習制度受入事業の現状等について説明がありました。赤湯温泉旅館協同組合では、BCPについて説明があり、「リスクの洗い出し」を重要視し策定を行いました。通常総会時に市のハザードマップとサバイバルカードを配布し、組合員に対し意識付けを行っています。

情報交換会では、両県中央会の取り組みや現状について意見交換を行いました。今後ともこのような機会を増やしていくべきとの考えで意見が出ました。

【宮城開催】

平成30年11月15日(木)、16日(金)、気仙沼市の南気仙沼水産加工工業協同組合、気仙沼さかなの駅協同組合、株式会社阿部長商店の視察を行いました。

南気仙沼水産加工工業協同組合では、組合事業の超低温冷蔵庫・保管倉庫の運営、工場排水・海水浄化について説明がありました。気仙沼さかなの駅協同組合では、「えきちよー」という魚のゆるキャラによるSNSにより情報発信を行っています。

参加者からは、視察先の取組みを今後の業務に反映していきたいとの感想がありました。



南気仙沼水産加工工業協同組合